

機関番号：80122
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2008～2010
 課題番号：20580165
 研究課題名（和文） 北海道の外来・在来樹木昆虫の地球温暖化に伴う拡大予測に関する基礎研究
 研究課題名（英文） Basic research on the damage prediction of alien and native tree insect pests with global warming in Hokkaido
 研究代表者
 原 秀穂（HARA HIDEHO）
 北海道立総合研究機構・林業試験場・道東支場長
 研究者番号：40414271

研究成果の概要（和文）：北海道における地球温暖化に伴う樹木害虫被害の早期発見・対応を図る上での基盤の一つとなることを目的に、外来種の調査を行い、また、外来・在来害虫の形態的特徴・生態・被害・分布に関するデータベースを作成し、ホームページに公開した。

研究成果の概要（英文）：To establish the base for the early detection and management of tree insect pests with global warming in Hokkaido, alien pests were researched and a database on morphology, bionomics, damage and distribution of pests was constructed and opened in an internet website.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2009年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：農学

科研費の分科・細目：森林学・森林科学

キーワード：樹木害虫、外来種、北海道、データベース

1. 研究開始当初の背景

北海道の森林では近年、国外・国内外来種の増加、並びに在来種の突然の害虫化や従来とは異なる樹木被害が認められる。外来種の定着や在来種の発生パターンの変化は、森林に大きな影響を及ぼす可能性がある、あるいは、過去に例のない害虫被害の発生は、地球温暖化など環境変動による森林衰退の前兆の可能性もある。このような視点で森林・樹木害虫の被害モニタリングを進めることが、環境変動に伴う異常の早期発見・対応を図る上で必要と考えられる。このためには、外来種・在来種両方について、今後の発生の異常性を検出・評価できるようにすることが重要である。

2. 研究の目的

本研究では、北海道で外来種の検出を進めるとともに、樹木への影響を検出する上で必要な特徴を明らかにする。また、既知の外来種についても調査を行い、現状を把握する。以上の調査及び文献等に基づき、被害モニタリングに必要な形態的・生態的情報を蓄積・整理してデータベース化する。

3. 研究の方法

北海道の道北・オホーツク・道東・道央・道南地域で、樹木害虫調査を行う。害虫の特徴・生態・被害様式・分布等を取りまとめデータベース化する。

4. 研究成果

国外外来種キンケクチブトゾウムシ・ハリエンジュハベリマキタマバエ、国内外来種もしくはその可能性が高い害虫について被害・分布等を明らかにし報告した。今回の調査結果及び既存の資料をもとに北海道の樹木害虫約 200 種（外来種 24 種を含む）のデータベースを作成し、ホームページで公開した（下図）。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

- ①原秀穂、北海道におけるナラフサカイガラムシ被害の発生、光珠内季報、査読無、162、2011、10 - 14
- ②原秀穂、北海道における膜翅目ハバチ亜目の樹木害虫 I: ナギナタハバチ科、ヒラタハバチ科、ミフシハバチ科、コンボウハバチ科、北海道林業試験場研究報告、査読無、47、2010、51 - 68.
- ③原秀穂、最近、北海道で樹木被害が確認された外国からの侵入害虫、光珠内季報、査読無、2010、159、12 - 16
- ④Blank, S. M., Hara, H., Mikulás, J., Csóka, G., Ciornei, C., Constantineanu, R.,

Constantineanu, I., Roller, L., Altenhofer, E., Huflejt, T., Véték, G., Aproceros leucopoda (Hymenoptera: Argidae): An East Asian pest of elms (*Ulmus* spp.) invading Europe, *European Journal of Entomology*, 査読有、2010、107、357 - 367
⑤Shinohara, A., Hara, H., J.-W. Kim, The species-group of *Arge captiva* (Insecta, Hymenoptera, Argidae), *Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Tokyo, Series A*, 査読無、2009、35、249 - 278

〔その他〕

ホームページ：

- ①樹木を食べる昆虫、北海道、<http://www.fri.hro.or.jp/zukan/konchu/00top.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

原 秀穂 (HARA HIDEHO)

北海道立総合研究機構・林業試験場・道東支場長

研究者番号：40414271

樹木を食べる昆虫、北海道 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り 移動 リンク

アドレス http://www.fri.hro.or.jp/zukan/konchu/00top.html

トップ Top 害虫検索 害虫リスト List リスト・アイウ 外来種リスト

樹木を食べる昆虫、北海道 Insects that feed on trees in Hokkaido

2011/3/31

樹木ごとの害虫検索
樹木害虫リスト List of tree insect pests
樹木害虫リスト・アイウエオ順
樹木を食べる外来昆虫のリスト
(樹木害虫発生統計資料)

最近発生している害虫

クスサン 5〜7月に幼虫がウダイカンバ、クリ、トチノキなどの葉を食べ荒らす。体長最大約8cm。成虫は8月末〜9月に夜間、照明に集まる。

ページが表示されました

スタート 北海道立総合研究機構 樹木を食べる昆虫・北...

インターネット